

# 平成 19 年度事業計画書

自: 平成 19 年 4 月 1 日 至: 平成 20 年 3 月 31 日

## 1. 全般

- (1) 平成18年度に制定した学会の理念・ビジョンおよびコアコンピタンスに基づいた施策を実行し、発展構想実現に向けた活動を推進する。
- (2) 継続的な発展と円滑な運営をめざし、会員サービスをさらに充実する基盤を築く。
  - ・Webを活用した情報発信・情報交換の更なる強化により、ユビキタス社会にふさわしい学会づくりを推進する。
  - ・事務局機能の強化を進めるとともに、健全な財務体質を維持する。
- (3) 国際交流活動の推進を通して技術ならびに情報交流の活性化を図る。
- (4) 関西・九州地区での地域独自の学会活動活性化を継続し、地域における情報発信・情報交流を盛んにし、中小企業の学会活動支援と会員の拡大を図る。
- (5) 学会設立 10 周年を記念した行事を企画し、本学会が実装技術の中核であることを内外に示す。

## 2. 国際会議・学術講演大会・展示会等の開催 (定款第 4 条第 1 号関係)

- (1) IEEE CPMT Japan Chapter と共催で、第 11 回目の国際会議「ICEP 2007」(2007.4.18～20、於: 品川プリンスホテル) 開催
- (2) 2007 マイクロエレクトロニクスショー(「最先端実装技術・パッケージング展」)は、JPCA Show 2007 と同時開催(2006.5.30～6.1、於: 東京ビッグサイト)。また、「最先端実装技術シンポジウム」を併催。
- (3) 「第 22 回エレクトロニクス実装学会講演大会」(2008.3、於: 東京大学等関東圏) 開催
- (4) 先端技術セミナーの開催
  - ・定例セミナー開催 3 回を予定
- (5) 「第 17 回マイクロエレクトロニクスシンポジウム」(2007.9.13～14、於: 甲南大学) 開催

## 3. 調査・研究活動 (定款第 4 条第 2 号関係)

- (1) ワークショップの開催
  - ・2007 ワークショップ(修善寺)(2007.11.8～9)
  - ・関西ワークショップ 2007(2007.7.6)
- (2) 技術運営委員会とその傘下にある技術委員会の再編と見直しを行ない、活動の活性化を図る。そして、技術委員会において実装技術に関する技術的な諸課題と今後の動向を調査研究し、公開研究会、セミナー、シンポジウム等を開催。

## 4. 普及・啓発活動 (定款第 4 条第 3 号関係)

学会賞の授与、技術講習会・入門講座・技能検定試験講習会等の教育事業活動の充実。

- (1) 「エレクトロニクス実装学会賞」等の授与
- (2) 「実装技術入門講座」
- (3) 「PWB 製造技術講座(入門コース & 中級コース)」
- (4) 「実装技術総合講座」

## 5. 情報収集及び提供活動 (定款第 4 条第 4 号関係)

- (1) 「エレクトロニクス実装学会誌」の発行  
会員の技術・研究活動の成果として発表される研究論文、総合論文、速報論文、技術論文、解説等を学会誌に掲載し、エレクトロニクス実装の技術と研究に関する最新の情報を収集・提供す

る。また、英文論文誌を目指し、トライアルとして ICEP 2007 小特集号を発行する。

- (2) 各種技術委員会・研究会の成果報告テキストの発行
- (3) Web 利用による会員サービス、情報発信のさらなる強化
- (4) 海外の技術情報を提供

#### **6. 内外機関等との交流・協力活動**（定款第 4 条第 5 号関係）

- (1) IMAPS との連携強化
- (2) IMAPS Korea（韓国）との協定締結。ICEP および ISMP の相互連携活動
- (3) 海外の国際会議の開催に協力・会員の参加への支援
- (4) ワールド連絡委員会との連携
- (5) エコデザイン学会連合との連携
- (6) 電子 SI 連絡協議会との連携

#### **7. 地域交流活動の促進**（定款第 4 条第 6 号関係）

- (1) 関西支部における各種事業の開催
- (2) 九州支部の拡充

#### **8. その他**

- ・ 広報活動の積極化、および会員増強運動の強化